2026年11月18日
CTP JAPAN株式会社

ドイツのペアレンティング用品ブランド「CYBEX」が、チャイルドシート利用の1歳～4歳児の親1,000人を調査

## 購入者の約７割が「新生児から4歳以上まで」使えるタイプを選択

# 一方、全体の52.0%が途中で「買い替え」「買い替えの検討」を経験
# 買い替えた人の約半数が「思っていたより早かった」と感じている

ドイツのペアレンティング用品ブランド「CYBEX（サイベックス）」（CTP JAPAN株式会社、本社：東京都渋谷区）は、チャイルドシートを利用する1歳～4歳の子どもの親1,000人を対象に、チャイルドシートに関する実態調査を行いました。

最初のチャイルドシートの購入時は、約6割（59.5%）が「その製品が使用できる間はできるだけ長く使いたい」と考え、約7割（68.3%）が「新生児から4歳頃まで」または「7歳以降まで」使えるタイプを選んでいます。一方で、調査対象者全体の約半数（52.0%）が「買い替え」または「買い替えの検討」を経験しており、買い替えた親の約半数が「当初考えていたより早く」と回答。買い替えた、または買い替えを検討した3歳～4歳児の親では、約7割が「2歳～3歳」で買い替えを検討。買い替えの理由は、子どもの成長や発達が挙げられていますが、「4歳頃まで使えるのだから、そのままでよい」と思って購入したものの、子どもの体格や行動が変わり、予定より早く次のチャイルドシートへの買い替えを考え始める、というギャップが生じています。

**主なTOPICS**

- チャイルドシートは**「できるだけ長く使いたい」**（59.5%）と思い、**「新生児から4歳頃まで使えるタイプ」**（50.0%）を購入。
- しかし実際には、**30.2%が「買い替え」、21.8%が「買い替えの検討」で、合わせて52.0%。 実際に買い替えた人の約半数（49.3%）は「当初考えていたより早かった」**と回答。
- **「新生児から4歳頃まで使えるタイプ」を選び、買い替えた、または買い替えを検討した3～4歳児の親でも、約7割が「2～3歳」で買い替えを検討。**
- 買い替えた人・買い替えを検討した人の理由は「子どもの身体が大きくなった」「子どもの身体・体格に合っていない」など子どもの成長・発達によるもの。
- チャイルドシートを使用する中で、「ハーネスから腕を抜いた」「チャイルドシートを嫌がった」などの**困りごとを75.2%が経験**し、「シートから抜け出した」「身体をのけぞらせたり暴れたりした」などの事故につながりそうな**ヒヤリハットを58.0%が経験。**
- **親の81.0%**が、現在使用中のチャイルドシートに「子どもの体格に合っているかわからない」などの**不安や迷いを抱えている。**
- チャイルドシートを**早めに買い替えた人の85.2%が困りごとの解消を実感。**
- 成長段階に合わせて**チャイルドシートを乗り換えるという考え方に、66.9%が「納得できる」と賛同。**

**「1～4歳児のチャイルドシート使用実態調査」調査概要**

■実施時期：2026年10月16日（金）～10月19日（月） ■調査手法：インターネット調査 ■調査対象：1歳～4歳の子どもの親（月に1回以上は子どもをクルマに乗せチャイルドシートの利用経験がある男女）1,000人 ■調査機関：楽天インサイト

※グラフの構成比（%）は小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

※「買い替え」＝買い替え済み、「買い替えの検討」＝未実施で検討（現在・過去）、「買い替え＋検討」＝合計、「乗り換え」＝成長に合わせ別タイプへ替える

# チャイルドシート購入時の思いと買い替え（検討を含む）の実態

## ■「購入時は「できるだけ長く使いたい」と考え、長く使えるタイプを選ぶ人が約7割」

## ■ しかし実際には3割が途中で買い替え済みで、そのうち約半数が当初の予想より「早かった」と回答

1歳～4歳の子どもを月に1回以上はクルマに乗せ、チャイルドシートの利用経験がある親、男女1,000人に聞きました。

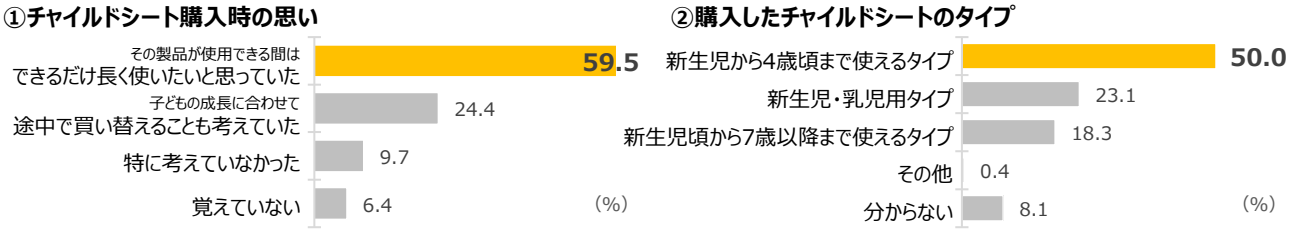
チャイルドシートを最初に購入する際、59.5%が「その製品が使用できる間はできるだけ長く使いたい」と考え、「新生児から4歳頃まで使えるタイプ」（50.0%）と「新生児頃から7歳以降まで使えるタイプ」（18.3%）を合わせて、約7割（68.3%）が長く使えるタイプを選んでいます［図1］。

しかし、実際には30.2%が別のチャイルドシートに買い替え、買い替えを検討した人（現在13.6%＋過去8.2%）を加えると、52.0%と半数以上が買い替えた、または買い替えを検討した経験があります［図2］。

買い替えた人に買い替えのタイミングを聞くと、約半数の49.3%（かなり早かった23.2%＋やや早かった26.2%）が当初考えていたより早くチャイルドシートを買い替えています［図3］。

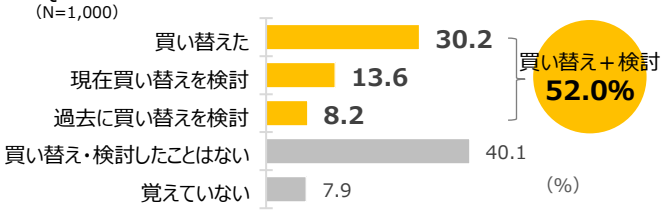
### ［図1］チャイルドシート購入時の気持ち

Q. ①購入時、チャイルドシートはどのように使っていきたいと考えていたか？ ②購入したチャイルドシートのタイプは？ 対象：全体（N=1,000）



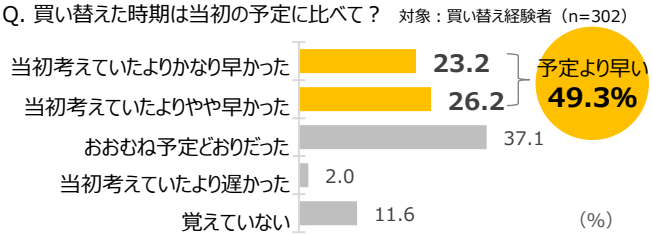

### ［図2］チャイルドシートの買い替え（検討を含む）の状況

Q.最初に購入したチャイルドシートから買い替えたか？ 対象：全体（N=1,000）




### ［図3］チャイルドシートの買い替えのタイミング

Q. 買い替えた時期は当初の予定に比べて？ 対象：買い替え経験者（n=302）




## ■ 4歳頃まで使うつもりで選んだチャイルドシート、実際は約7割が「2歳～3歳」で買い替えを検討

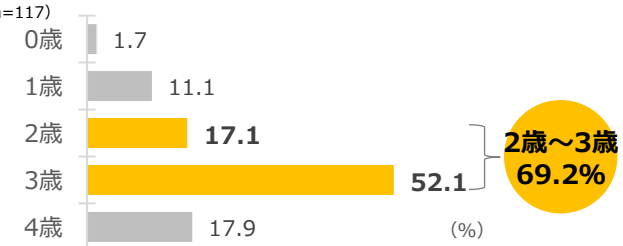
実際に何歳ぐらいでチャイルドシートの買い替えを検討するのか、当初4歳頃まで使えるチャイルドシートを選び、買い替えた、または買い替えを検討した現在3歳～4歳の子どもの親に聞きました。すると、「3歳」が52.1%と最も多く、「2歳」（17.1%）と答えた人を合わせて69.2%が「2歳～3歳」でチャイルドシートの買い替えを検討しています［図4］。

チャイルドシートを買い替えた人・買い替えを検討した人に買い替えの理由を聞くと、「子どもの身体が大きくなった」（44.8%）、「子どもの身体・体格に合っていない」（25.2%）が多く、子どもの成長が主な理由です。また、「乗せ降ろしが大変になった」（19.8%）という理由も挙げられました［図5］。4歳頃までと選んだものの、子どもの成長や発達に合わせて買い替えを考える場面が出てくるようです。

### ［図4］買い替え検討時期

Q.チャイルドシートの買い替えを検討した時期は？

対象：当初4歳頃まで使えるタイプを選び、買い替えた、または買い替えを検討した3～4歳児の親（n=117）




### ［図5］チャイルドシートの買い替え（検討を含む）の理由 TOP5

Q. 買い替えの理由は？（複数回答） 対象：チャイルドシートを買い替えた人＋買い替えを検討した人（n=520）

| | | |
|---|---|---|
| 1位 | **子どもの身体が大きくなった** | 44.8 |
| 2位 | **子どもの身体・体格に合っていないと感じた** | 25.2 |
| 3位 | **乗せ降ろしが大変になった** | 19.8 |
| 4位 | 子どもがチャイルドシートを嫌がるようになった | 13.7 |
| 5位 | ハーネスから腕を抜く・抜け出そうとする | 12.9 |

チャイルドシートを買い替えた人＋買い替えを検討した人（n=520） (%)

# 子どもの成長に伴うヒヤリハットと親の対応

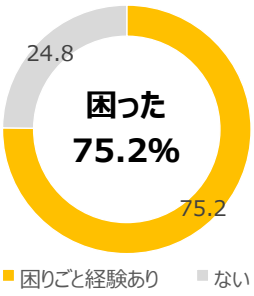
## ■ 成長に伴う子どもの行動の変化も見直しのサインに　使用中に約6割がヒヤリハットを経験

チャイルドシートを使用する中で困った経験を聞きました。「ハーネスから腕を抜いた・抜こうとした」（36.5%）、「チャイルドシートに乗ることを嫌がった・泣いた」（26.8%）など、全体の75.2%が困りごとを経験しています［図6］。さらに、事故につながりそうな安全面での危険を感じた経験を聞くと、全体の58.0%と約6割がヒヤリハットを経験しています［図7］。

購入時には長く使える製品を選んでいても、子どもの成長や行動の変化により、購入時には想定しなかった成長後の安全課題が顕在化するようです。

### ［図6］チャイルドシート使用で困った経験

Q.チャイルドシートの使用で困った経験は？　対象：全体（N=1,000）

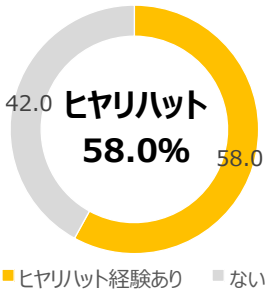



| | | |
|---|---|---|
| 1位 | ハーネスから腕を抜いた・抜こうとした | 36.5 |
| 2位 | チャイルドシートに乗ることを嫌がった・泣いた | 26.8 |
| 3位 | 身体が窮屈そうだと感じた | 26.6 |
| 4位 | 身体をのけぞらせたり暴れたりした | 24.3 |
| 5位 | シートから抜け出した・抜け出しそうになった | 21.9 |
| 6位 | ハーネスやベルトを自分で外そうとした | 20.7 |
| 7位 | 座っているうちに姿勢が大きく崩れた | 9.9 |
| 8位 | 身体がシートからずれた | 8.3 |

全体（N=1,000）（%）

### ［図7］チャイルドシート使用のヒヤリハット経験

Q. 事故につながるかもしれない経験は？　対象：全体（N=1,000）




| | | |
|---|---|---|
| 1位 | ハーネスから腕を抜いた・抜こうとした | 22.7 |
| 2位 | シートから抜け出した・抜け出しそうになった | 14.7 |
| 3位 | 身体をのけぞらせたり暴れたりした | 12.3 |
| 4位 | チャイルドシートに乗ることを嫌がった・泣いた | 10.9 |
| 5位 | ハーネスやベルトを自分で外そうとした | 10.7 |
| 6位 | 身体が窮屈そうだと感じた | 10.6 |
| 7位 | 座っているうちに姿勢が大きく崩れた | 4.3 |
| 8位 | 身体がシートからずれた | 3.7 |

全体（N=1,000）（%）

## ■ 子どもがチャイルドシートを嫌がるとき、「正しく座らせることを諦めそうになる」「ハーネス・ベルトを緩める」ことも

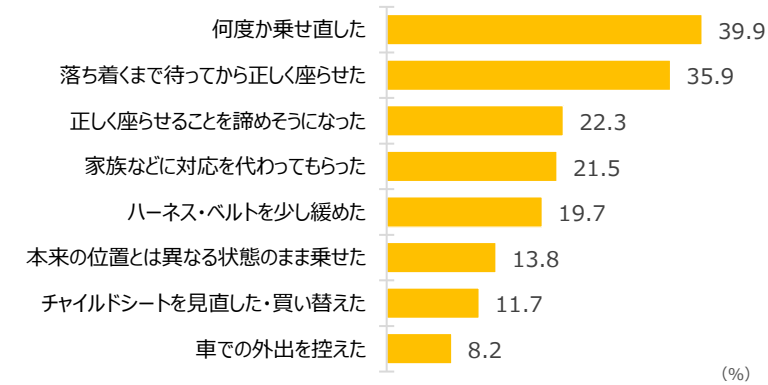
子どもがチャイルドシートを嫌がったり、身体をのけぞらせて暴れたりした際の対応を聞きました。「何度か乗せ直した」（39.9%）、「落ち着くまで待ってから正しく座らせた」（35.9%）に加えて、「正しく座らせることを諦めそうになった」（22.3%）や「ハーネス・ベルトを少し緩めた」（19.7%）といった対応も見られました［図8］。

こうした変化は、チャイルドシートが今の子どもに合っているかを見直すサインといえそうです。

### ［図8］子どもがチャイルドシートを嫌がったときの対応

Q.チャイルドシートを嫌がった際の対応は？（複数回答）

対象：子どもが嫌がったり、のけぞったり、暴れたりした人（n=376）



# チャイルドシートへの不安と、買い替えによる解消

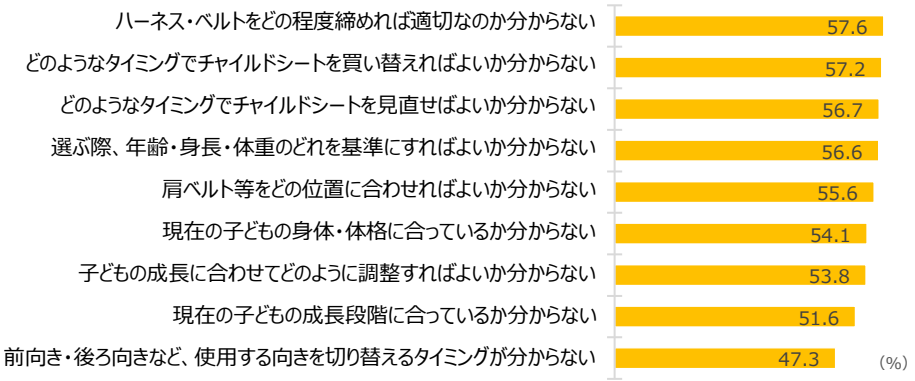
## ■ 使用中のチャイルドシート適切かどうか、不安や迷いを感じたまま利用している親が8割も

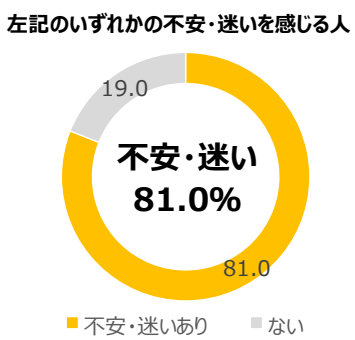
「ハーネス・ベルトをどの程度締めれば適切なのか分からない」（57.6%）、「どのようなタイミングでチャイルドシートを買い替えればよいか分からない」（57.2%）、「現在の子どもの身体・体格に合っているか分からない」（54.1%）など、9項目中8項目で5割を超え、使用しているチャイルドシートが適切かどうか分からないまま使用中、という課題が浮き彫りになりました。提示した9項目のうち、いずれかの不安や迷いを感じている人は全体の81.0%にもなります［図9］。

**［図9］現在使用中のチャイルドシートの課題**

Q.現在使用しているチャイルドシートの選び方・使い方についてどう思うか？（スコアは「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計値）

対象：現在、チャイルドシートを使用中の人（n=923）



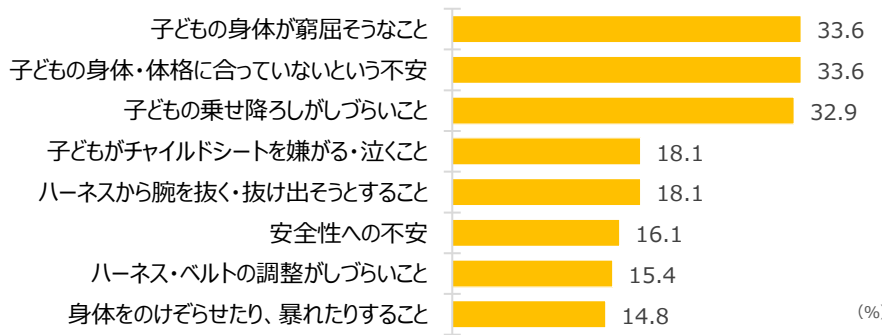



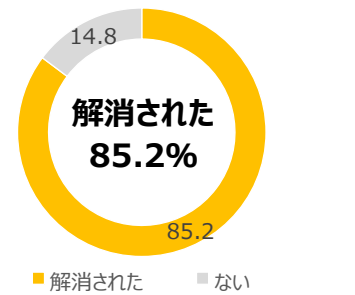

## ■ チャイルドシートの早めの買い替えで、85%が「困りごとが解消」

図3で、買い替えたタイミングが「予定より早かった」と答えた人に、買い替え前に感じていた困りごとの解消について聞きました。すると、「子どもの身体が窮屈そうなこと」（33.6%）や「子どもの身体・体格に合っていないという不安」（33.6%）、「子どもの乗せ降ろしがしづらいこと」（32.9%）などの困りごとが解消されたと答えています。早めに買い替えた人の実に85.2%が、困りごとの解消を実感しています［図10］。

**［図10］早めの買い替えによる困りごとの解消**

Q.予定より早く別のチャイルドシートに買い替えたことで解消・軽減された困りごとは？　対象：チャイルドシートを予定より早く買い替えた人（n=149）




## ■ 成長に合わせた乗り換え、約7割が賛同

チャイルドシートには1台を新生児期から長く使い続けるタイプのほか、成長段階に合わせて、後ろ向き専用のベビーシートから前向き専用のチャイルドシートに乗り換える※という考え方があります。

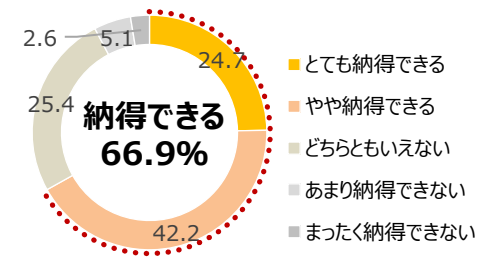
成長に合わせて乗り換えるという考え方に対する意見を聞くと、約7割が「納得できる」（66.9%）と答えています［図11］。

※新生児期は、赤ちゃんの小さな身体に合わせてつくられた後ろ向き専用のベビーシートを使い、生後15ヵ月以上かつ身長76cm以上になり、前向きで乗車できる体格になったタイミングで前向き専用のチャイルドシートに乗り換えるというもの。

**［図11］成長に合わせた乗り換え**

Q.成長に合わせたチャイルドシートの乗り換えという考え方には？

対象：全体（N=1,000）



# モータージャーナリスト・岩貞るみこさんによるコメント

交通事故は、どんなに自分が気をつけて運転していても、防ぎ切れないことがあります。例えば、正面衝突。対向車が突然センターラインを越えて、自分の車に突っ込んでくることもあるのです。

だからこそ、万が一の事故に備えて、子どもを守るためにできることをしておきたい。チャイルドシートは購入したら終わりではありません。日々、成長する子どもの体格に合わせて、ハーネスが体の正しい位置にかかっているか、体をしっかりと支えられているか、ヘッドレストが頭の両側を適切に保護できる高さになっているかなどを確認し、調整しなくては子どもの命を守れないのです。特に、今回の調査対象となった1歳～4歳は、子どもの心と体が大きく成長する時期です。成長に伴い、チャイルドシートのハーネスを自分で外そうとしたり、乗るのを嫌がったりするなど、行動にも変化が見られます。こうした変化は、親が思っているよりも早いタイミングで起きるかもしれません。

そのため、チャイルドシートを「長く使える」ことだけでなく、「子どもの成長と変化」を考えて選び、買い替えていくことは、安全性と使いやすさを両立できる大切な選択肢の一つです。必要な調整も分かりやすくなり、子どもを健やかに育てるために、やらなければならないことがたくさんある忙しい保護者にとって、日々の負担、そして不安を減らすことにつながります。また、買い替えるタイミングで、子どもの成長を見つめ、チャイルドシートの使い方を改めて学び、安全意識を高めるよい機会になるはずです。

子どもにとって、チャイルドシートは自分では選べないものです。だからこそ、大人が正しい知識を持ち、子どもの成長に合わせて選び、使いこなしていくことが大切です。子どもの成長を楽しみながら、その成長に合った安全を用意していく。それは、保護者だからこそできる、大切な愛情表現の一つです。



**岩貞　るみこ（いわさだ・るみこ）さん**

**モータージャーナリスト／児童ノンフィクション作家**

クルマを加害車にしないために、人道車医療の視点から取材に取り組むほか、
国土交通省、警察庁、内閣府をはじめとする各省庁の有識者検討委員を務める。
交通安全に関する講演活動を行うほか、子どもたちに命の大切さを伝えることで、
交通事故を減らせると考え、小中学生に向けた書籍の執筆も行う。
「命をつなげ！ドクターヘリ」シリーズ、「しっぽをなくしたイルカ　沖縄美ら海水族館フジの物語」「ハチ公物語－待ちつづけた犬－」（すべて講談社青い鳥文庫）など多数。

# CYBEXの思い

## ■ 子どもの成長に合わせて、安全を選び続けるために

今回の調査から、多くの親がチャイルドシートを「できるだけ長く使いたい」と考えて購入する一方で、実際には半数以上が買い替えた、または買い替えを検討した経験があり、買い替えた人の約半数が「当初考えていたより早かった」と感じていることが分かりました。また、現在使用しているチャイルドシートの選び方や使い方について、約8割の親が不安や迷いを抱えていることも明らかになりました。

こうした調査結果からも、チャイルドシートを選ぶ際には、その後の子どもの成長も見据えることが大切だと考えています。特に、乳児から幼児へと成長する時期は、子どもの体格だけでなく、動きや行動も大きく変わります。身体が大きくなって窮屈そうになったり、ハーネスから抜け出そうとしたりと、購入時には想定していなかった変化が起こることもあります。こうした成長や変化に対応する方法として、新生児期には小さな身体に合った後ろ向き専用のベビーシートを使用し、前向きで乗車できる時期になったら、その時の体格や成長段階に合ったチャイルドシートに乗り換えるという選択肢もあります。

CYBEXは、子どもの成長や家庭の状況に合わせた柔軟なチャイルドシート選びを新しく提案することで、保護者の不安を少しでも減らし、親子が安心して快適に移動できる毎日を支えていきたいと考えています。

## ■「最初の1台を選ぶ」から、「子どもの成長全体を考えるチャイルドシート選び」

CYBEXの新しいチャイルドシートファミリー「PLATINUM S-LINE（プラチナム エスライン）」は、新生児期から12歳頃まで、子どもの成長段階に応じた安全性と使いやすさをつないでいく、全7アイテムのシリーズです。

大きな特徴は、共通のベース「BASE S」を活用し、子どもの成長に合わせてシートを乗り換えられるモジュラーシステムです。新生児期には後ろ向きベビーシート「CLOUD S」を使用し、成長に合わせてエアバッグ内蔵の前向きチャイルドシート「ANORIS S」へ乗り換えることができます。また、後ろ向き乗車を長く続けたいご家庭には「SIRONA S」という選択肢も用意しています。

1台を長く使うことも、成長に合わせて乗り換えることも、どちらか一方が正解というわけではありません。CYBEXは、それぞれの子どもの成長やご家庭の考え方に合わせて、納得できる安全の選択肢を提供していきます。




## ＜CYBEX（サイベックス）とは＞

「CYBEX」は、安全性・デザイン性・機能性が世界で高く評価されている、ドイツ生まれのペアレンティング（ベビー用品）ブランドです。Design（ユニークなデザイン）・Safety（卓越した安全性とクオリティ）・Function（インテリジェントな機能性）という３つの柱を重視した製品開発（＝CYBEX D.S.F. Innovation Principle）は、安全性に対する数々の高い公的評価や、デザインに関する数多くの受賞につながっています。

## ＜CTP JAPAN株式会社について＞

CTP JAPAN株式会社（本社：東京都渋谷区）は、日本のペアレンツに最適化された製品を確実にお届けするために設立された専門商社で、CYBEX製品の「正規輸入総代理店」です。▶▶▶サイベックス公式ホームページ：https://cybex-japan.com/